

環境経営レポート

(活動期間:2024年4月~2025年3月)



2025年6月2日

株式会社 三栄建設

代表取締役 濱崎直樹

1. 組織の概要

【会社概要】

| | |
|----------------|------------------|
| 商号 | 株式会社 三栄建設 |
| 本社 | 広島市東区光が丘14-15 |
| 資本金 | 2,000万円 |
| 会社成立年月日 | 昭和46年3月15日 |
| 売上高 | 25,495万円 (6年度実績) |
| 受託した産業廃棄物収集運搬量 | 389.5 t (6年度実績) |
| 従業員人数 | 12名 |
| 本社事務室 床面積 | 93㎡ |
| 倉庫 敷地面積 | 420㎡ |

事業活動の内容

1. 土木工事、とび・土工工事、石工事、ほ装工事、塗装工事、鋼構造物工事、その他土木工事の請負及び施工
2. 前号に関連する調査・設計及び監理
3. 産業廃棄物の収集・運搬および処理事業
4. 前各号に付帯する一切の業務

・建設業関係

特定建設業

広島県知事 許可（特-4） 第4964号

令和4年12月3日 ~ 令和9年12月2日 まで

土木工事業

舗装工事業 石工事業 塗装工事業

とび・土工工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業

鋼構造物工事業

・産業廃棄物処理業関係

許可番号

広島県 第3409016007号

許可年月日

令和6年4月8日

許可有効期限

令和11年4月7日

区分

収集運搬（積替え・保管は含まない）

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）、陶磁器くず及びがれき類（これらのうち石綿含有産業廃棄物を含み、廃プラスチック配線板、廃プラスチック管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃石膏ボード、廃容器包装、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

以下余白

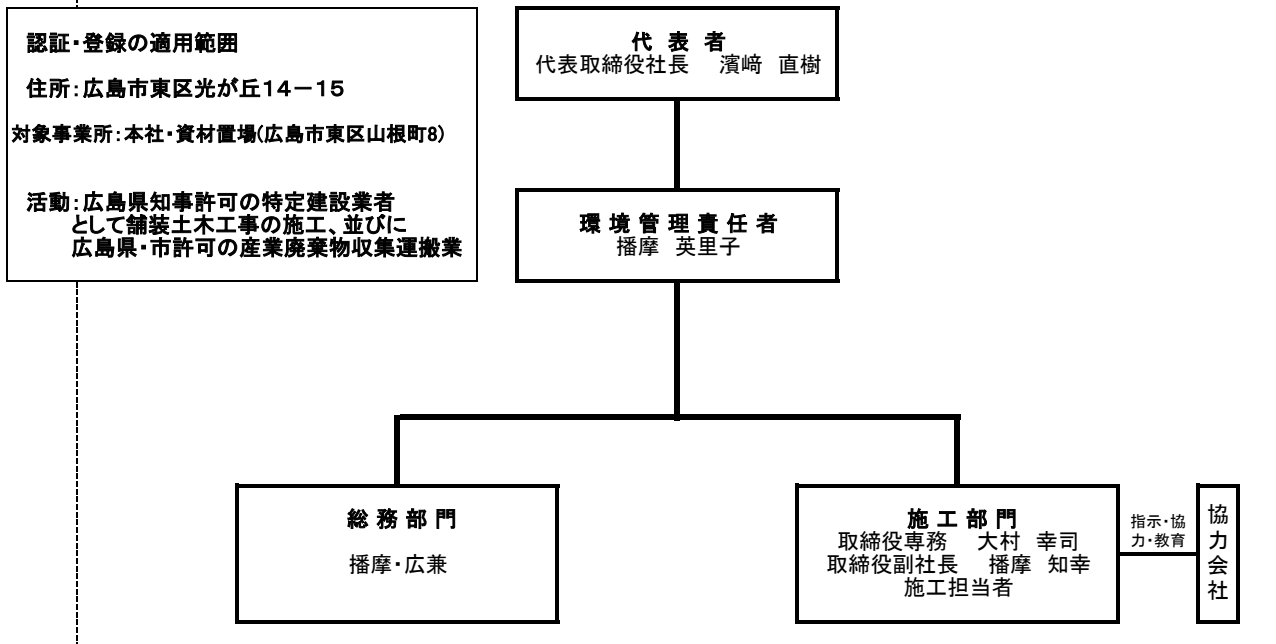
4tダンプ 1台 3tダンプ5台

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者： 播摩 英里子

2.対象範囲 実施体制

株式会社 三栄建設 環境経営システム組織図



| 担当 | 役割 (責任・権限) |
|--------------------------|---|
| 代表者 (社長) ・濱崎 直樹 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用・時間・技能、技術者の見直し準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動実施計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営活動レポートの承認 |
| 環境管理責任者 ・播摩 英里子 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・「環境関連法規制及びその他要求事項一覧表」を承認 ・環境目標・環境活動実施計画書を確認 ・環境活動の取組み結果を代表者(社長)へ報告 ・環境経営活動レポートの確認 |
| 総務部門 (播摩・広兼) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境経営活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) |
| 施工部門 ・大村 幸司 ・播摩 知幸 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・問題点の発見、是正、予防処置 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の環境事務局報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の環境事務局報告 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境保全活動の取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境保全活動へ参加 ・環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告 |

3. 環境経営方針

環境経営方針

環境保全への行動指針

① 事業活動において環境に配慮した施工の実施に努めます。



② 産業廃棄物、ゴミ等の分別を徹底し再資源化率を向上させます。



③ 電力・燃料の消費に伴うCO2排出量の削減に取り組めます。



④ 水資源の重要性を認識し節水に取り組めます。



⑤ 事務用品、建設資材のグリーン購入を推進します。

環境経営理念

事業活動における環境負荷を低減し継続的改善による環境経営を推進していきます。

組織の一人一人が環境経営システムの中で自らがどのような役割を担っているのか

理解し3R 資源の消費や廃棄物を削減(Reduce)再使用(Reuse)再資源化(Recycle)

に取り組むSDGSと関連付け地域社会の環境保全に努め環境関連法規制等を遵守します。

制定 平成 22 年 6 月 10日

改訂 令和 6 年 6 月 2日

株式会社 三 栄 建 設

代表取締役 濱崎 直樹



4. 主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 81497 | 95804 | 74797 | 70955 |
| 電力 | kWh | 7839 | 7452 | 7143 | 7736 |
| ガソリン | L | 7403 | 8249 | 6736 | 6340 |
| 軽油 | L | 21253 | 25922 | 19638 | 19231 |
| 一般廃棄物 | kg | 980 | 979 | 730 | 764 |
| 産業廃棄物 | トン | 1,776 | 9.9 | 99.6 | 790.8 |
| 産業廃棄物収集運搬委託 | トン | 710.00 | 617.60 | 529.90 | 389.50 |
| 総排水量 | m ³ | 237 | 222 | 174 | 194 |

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、中国電力H29年度実績
0.677kg-CO₂/kWh (調整後排出係数を使用)

5. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

| 年度 | | 基準年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|-----------------------|---|------------|--------|--------|--------|
| 電気使用量の削減 | kWh | 7,143 | 7,136 | 7,129 | 7,122 |
| | 対基準 | (2023年度基準) | ▲0.1% | ▲0.2% | ▲0.3% |
| 施工機械・自動車燃料量の削減 (ガソリン) | L | 6,736 | 6,730 | 6,724 | 6,718 |
| | 対基準 | (2023年度基準) | ▲0.1% | ▲0.2% | ▲0.3% |
| 施工機械・自動車燃料量の削減 (軽油) | L | 19,638 | 19,619 | 19,600 | 19,584 |
| | 対基準 | (2023年度基準) | ▲0.1% | ▲0.2% | ▲0.3% |
| 再生材使用の促進 | % | 90 | 90 | 90 | 90 |
| 産業廃棄物の再資源化促進 | % | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 水道水の節水 | m ³ | 174 | 173 | 172 | 171 |
| | 対基準 | (2023年度基準) | | | |
| コピー用紙の削減 | 冊 | 41 | 40 | 40 | 40 |
| | 対基準 | (2023年度基準) | | | |
| 清掃ボランティア | 回 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | アダプト活動他 | | | | |
| 環境教育訓練ほか | 回 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 化学物質 | ※SDSを確認した結果化学物質(PRTR対象物質)は使用していないため削除することにした。 | | | | |

(2) 2024年度の実績

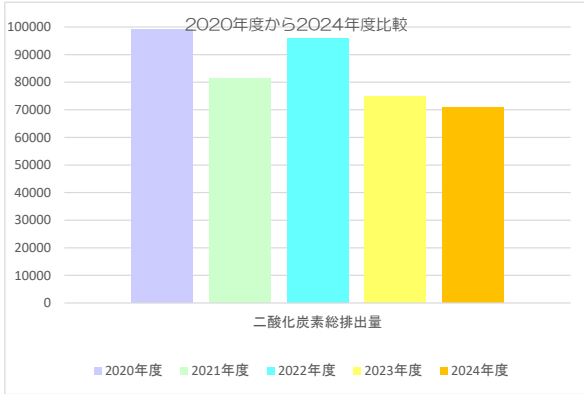
| 項目 | 年度 | 2024年度 | | | | |
|-----------------------|----------------|------------|--------|--------|--------|----|
| | | 基準値 | 目標 | 実績 | 達成度 | 評価 |
| 電気使用量の削減 | kWh | 7,143 | 7,136 | 7,736 | 92% | △ |
| | 対基準 | (2023年度基準) | ▲0.1% | | | |
| 施工機械・自動車燃料量の削減 (ガソリン) | L | 6,736 | 6,730 | 6,340 | 106% | ○ |
| | 対基準 | (2023年度基準) | ▲0.1% | | | |
| 施工機械・自動車燃料量の削減 (軽油) | L | 19,638 | 19,619 | 19,231 | 102% | ○ |
| | 対基準 | (2023年度基準) | ▲0.1% | | | |
| 再生材使用の促進 | % | 90 | 90 | 97.0 | 107.8% | ○ |
| 水道水の節水 | m ³ | 174 | 173 | 194 | 89% | △ |
| | 対基準 | (2023年度基準) | | | | |
| コピー用紙の削減 (使用料) | 冊 | 41 | 40 | 46 | 87% | △ |
| | 対基準 | (2023年度基準) | | | | |
| 清掃ボランティア | 回 | 4 | 4 | 4 | 100% | ○ |
| | アダプト活動他 | | | | | |
| 環境教育訓練ほか | 回 | 4 | 4 | 3 | 75% | △ |

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度=目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度=実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○:達成、△:やや未達成、×:未達成

2020年度から2024年度比較

| 項目 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-----------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 98951 | 81497 | 95804 | 74797 | 70955 |



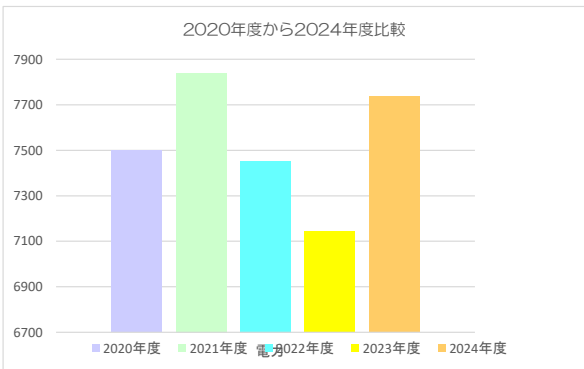
2020年度から2024年度の出来高当たりの数量

| 項目 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-----------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 出来高 | 百万 | 322 | 459 | 570 | 397 | 254 |
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 98951 | 81497 | 95804 | 74797 | 70955 |
| 電力 | kWh | 7499 | 7839 | 7452 | 7143 | 7736 |
| ガソリン | L | 7429 | 7403 | 8249 | 6736 | 6340 |
| 軽油 | L | 29699 | 21253 | 25922 | 23808 | 19231 |
| 総排水量 | m ³ | 194 | 237 | 222 | 174 | 194 |

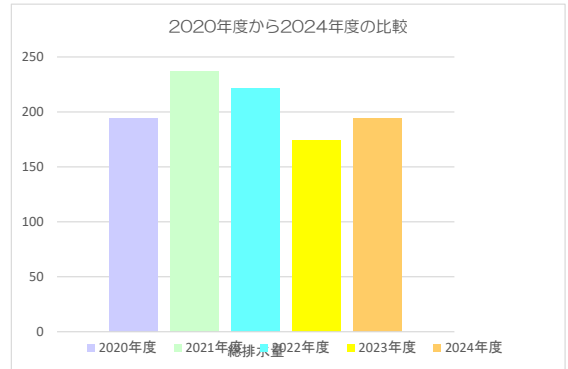
注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、中国電力H29年度実績 0.677kg-CO₂/kWh (調整後排出係数を使用)

- ☆ 2020年度からの5年間の集計をグラフにしてみました。
- ☆ 2023年度の数値が少なくなっているので2023年度を基準値にして目標を設定するが結果は仕事の内容で左右されるので取り組みが来ていることが重要。
- ☆ きちんと取り組みしているつもりなのに2024年度電力量が多いのが目立っている。

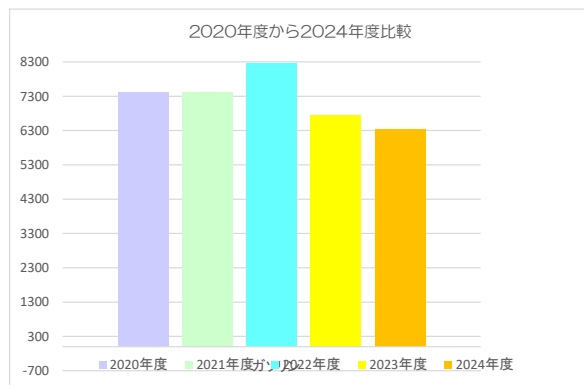
| 項目 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 電力 | kWh | 7499 | 7839 | 7452 | 7143 | 7736 |



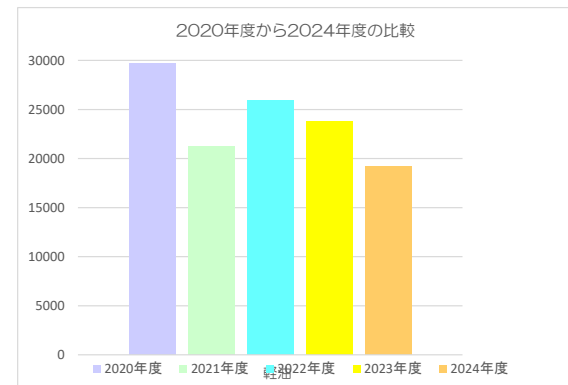
| 項目 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総排水量 | m ³ | 194 | 237 | 222 | 174 | 194 |



| 項目 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| ガソリン | L | 7429 | 7403 | 8249 | 6736 | 6340 |



| 項目 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 軽油 | L | 29699 | 21253 | 25922 | 23808 | 19231 |



6. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 取り組み計画 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|--------------------------------|------|--|
| 電力使用量の削減 | | |
| ・冷暖房の控えめな使用（事務所：冷房 27℃、暖房 20℃） | ○ | 事務所の冷暖房の控えめな使用を心掛けているが外から帰ってきた人やお客さんには悪かったので約束があるときには少し前に温度調節をする。ドアの開け閉め、窓、ブラインドでも温度調整できた。いらぬ電気は消す、使わない線は抜いておくことができた。充電するものが増えてきているので注意しないとイケない。 |
| ・電気機器のこまめなスイッチ切り（昼休み事務所の電気を消す） | | |
| ・ドアの開け放しの防止 | | |
| ・帰宅時の不要な電源はすべて消す | | |
| 施工機械・自動車燃料量の削減 | | |
| ・アイドリングストップの徹底 | ○ | 個人で注意できている。運転日報も書いている。アルコールチェックも記入している。ダンプの必要のないときは乗り合いで行動出来ている。出来ていることを続けていくことと次みんなで見つけること。 |
| ・急発進、急加速、急停車の抑制 | | |
| ・省エネ運転 | | |
| ・事前の現場確認 | | |
| ・運転日報を書く | | |
| 環境物品等の調達・廃棄物排出量 | | |
| 再生材使用の促進 | | |
| ・工事資材の再生材使用促進 | ○ | 特別ではない限り合材は再生材を使用になっている。 |
| ・再生材への設計変更提案 | | |
| ・再生材使用実績の把握 | | |
| 産業廃棄物の再資源化促進 | | |
| ・分別解体の徹底による再生資源化 | ○ | ASガラ・COガラは再資源化される 今年度発生の木くず・廃プラは埋立ではなく再資源化されている。 (委託契約書・マニフェストで確認) マニフェストは管理表で管理できた。 |
| ・設計変更による発生量の軽減 | | |
| ・マニフェスト票管理による法令順守 | | |
| ・工事資材ロス減らす | | |
| 水使用量 | | |
| 水道水の節水 | | |
| ・水漏れチェック | ○ | 水漏れはなかった。水は止めている。水は舗装のとき持っていく。毎回持っていくが特に大きいタンクを借りていくようなことはなかった。4月に請求来ている水の量は前年度の工事分と思われる。 |
| ・水は流しっぱなしのないよう使用しない時はその都度止める。 | | |
| ・水を使用した工事の把握 | | |
| 資源 | | |
| コピー用紙の削減 | | |
| ・文書、書類などの電子化を進め、ペーパーレス化を努める | ○ | FAXがパソコンにくるので印刷せずに確認できるものや保存できるものいらぬFAXはチェックして紙にしないことで紙の使用を削減できているが連結で経理の方法が2024年度から変わって紙に出して管理するので使用が増えた。必要な書類が電子化されないのでもなかなかペーパーレス化にならない。 |
| ・FAXが来たらパソコン内で確認しらないものは印刷しない | | |
| ・印刷、コピー前の設定確認チェックでミスコピーを削減する | | |
| ・使用済み用紙の裏紙の再利用を推進する。 | | |
| 地域活動 | | |
| 清掃ボランティア | | |
| ・本社/置場/現場周辺の清掃活動 | ○ | 清掃・アダプト活動できた。 |
| ・アダプト活動 | | |
| 環境活動教育訓練 | | |
| ・教育訓練を実施 | △ | 毎月安全協議会の話をしている。 7月には環境の勉強会をした。 |
| ・社外セミナーへの参加 | | |

7. 環境経営計画次年度の取組内容

2024年度から2026年度の目標達成手段

地球温暖化対策

二酸化炭素の排出量削減

電力使用量の削減

- ・冷暖房の控えめな使用
(事務所：冷房 27℃、暖房 20℃)
- ・電気機器のこまめなスイッチ切り
(昼休み事務所の電気を消す)
- ・ドアの開け放しの防止
- ・帰宅時の不要な電源はすべて消す

施工機械・自動車燃料量の削減

- ・アイドリングストップの徹底
- ・急発進、急加速、急停車の抑制
- ・省エネ運転
- ・事前の現場確認
- ・運転日報を書く



循環型社会の構築

環境物品等の調達・廃棄物排出量

再生材使用の促進

- ・工事資材の再生材使用促進
- ・再生材への設計変更提案
- ・再生材使用実績の把握

産業廃棄物の再資源化促進

- ・分別解体の徹底による再生資源化
- ・設計変更による発生量の軽減
- ・マニフェスト票管理による法令順守
- ・工事資材ロスを減らす



環境負荷の低減

水使用量

資源

水道水の節水

- ・水漏れチェック
- ・水は流しっぱなしのないよう使用しない時はその都度止める。
- ・水を使用した工事の把握

IT-用紙の削減

- ・文書、書類などの電子化を進め、ペーパーレス化を努める
- ・FAXが来たらパソコン内で確認しらないものは印刷しない
- ・印刷、コピー前の設定確認チェックでミスコピーを削減する
- ・使用済み用紙の裏紙の再利用を推進する。



地域貢献・環境教育

地域社会への貢献 環境活動教育訓練

清掃ボランティア

- ・本社/置場/現場周辺の清掃活動
- ・アダプト活動



環境活動教育訓練

- ・教育訓練を実施
- ・社外セミナーへの参加

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

| 法規制等の名称 | 該当する活動 | 遵守状況 |
|-----------------------|---|------|
| 地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法) | ・2050年カーボンニュートラルの実現へ ・地域の再エネを活用した脱炭素化取組み ・企業の排出量情報のデジタル化・オープン化の推進 | 遵守 |
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用 | 遵守 |
| 騒音規制法・騒音規制法 | 指定地域における建設作業と届出 | 該当無 |
| 建設リサイクル法 | 対象工事における届出書面作成 | 遵守 |
| 消防法 | 危険物の運搬のとき標識ステッカー貼付け | 遵守 |
| 道路交通法 | 道路における対象工事・作業の許可申請 | 遵守 |
| 道路法 | 継続して道路を使用する対象物件の許可申請 | 遵守 |
| プラスチック資源循環促進法 | 判断基準省令に基づく排出の抑制。再資源化等の取組 | 遵守 |

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規制への違反はありません。

苦情はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、ありません。

9. 代表者による全体評価と見直し指示

エコアクション21認証登録を頂き、継続取組みで15年半が経過した。

全従業員の積極的取組みで、法令順守と環境経営の成果が数値表示となり化確認でき当社の強みと課題点(弱み)が見える化できて社員の意識気づきから日常業務変化につながり効果を感じられることが散見されてきている。

今年度は、G7サミット特需効果後の公共事業激減状況による混沌とする時代に向けての事業活動転換期ですが社員の取組みプロセスの変化を重要視し、引き続きEA21理念の『企業価値向上での良い会社づくり』を目指しての①業務改善効果から②環境負荷削減(脱炭素化)による③コスト削減④法令順守等の成果の妥当性が見える化できる筋の通った目標管理プロセスでのPDCAループ推進によりスパイラルアップに取組む。

今後とも、当社を取り巻く建設業界環境は多様な競争時代が引続き進展する中で”当社の顧客信頼度/安心度の向上確保で事業活動継続性を確立し、社員が誇れる地域会社の実現”に向けて全員でチャレンジ&トライしたい。

(当社信頼/安全性= 法令順守+社員満足度向上+環境/安全経営の確立+付加価値創出)のスローガンを今後も継続して、

”ムリ・ムラ・ムダの削減へ向けた創意工夫 ヨシ!”に全員が取り組めるように育成し、エコアクション22活動を更に深化させ「法令順守と環境経営からの経済活動の両立からの実のあるSDGs展望取組み」により地場建設業者として社会/地域からの信頼性を高めることにより事業継続展開できるように取り組んで従業員の雇用を確保していきます。

【指示事項】

- | | | |
|----------------|--|--|
| ・環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 指示なし | <input type="checkbox"/> 指示あり |
| ・環境経営目標/環境経営計画 | <input type="checkbox"/> 指示なし | <input checked="" type="checkbox"/> 指示あり |
| ・実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 指示なし | <input type="checkbox"/> 指示あり |

これからも一人一人が自主的・積極的に環境経営の継続改善に取り組めるようにしていく。

2025年6月2日

代表取締役 濱崎 直樹